

商工会連合会報

第496号

平成25年11月1日

(昭和45年12月3日3種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)
○購読料・1部10円(会費を含む) / 各奇数月1日発行

全県商工会 秋田DCキャンペーンで訪れた観光客などを特産品、ご当地グルメ、郷土芸能でおもてなし

おもてなしまつり

全県21商工会 共催 / 全国商工会連合会、秋田県商工会青年部連合会、秋田県商工会女性部連合会、全県21商工会青年部、女性部

オープニングを飾った角館高校生おやま囃子



勢揃いしたべっぴんさん品

藤里町駒踊り

主催者挨拶(村岡県連会長)

餅を振る舞う金子県連副会長

雨の中でのテープカット

Contents

- 1 秋田の偉人たち
- 2 全県商工会おもてなしまつり2013
 - ・由利本荘起業支援室への入居者募集中です
 - ・豪雨災害に義援金 石澤全国連合会長が来県
- 3 北秋田市・にかほ市・横手市平鹿町で移動県連を開催
 - ・商工会活動を支える秋田県議会議員連盟 情報交換
 - ・小規模企業基本法 制定が本格化
- 4 全県商工会女性部長サミットが大仙市で開催
 - ・第46回秋田県商工会青年部野球大仙美大会 計報
 - ・知ってる？消費税、17年ぶり増税へ！
- 5 県内商工会の地域貢献事業紹介
- 6 商工会新会員紹介コーナー
 - ・労働保険適用促進強化期間
 - ・秋旅ソウルツアーのお知らせ
- 7 商工会女性部おもてなし隊
- 8 さらほのまちの人

秋田の偉人たち

vol.28

多田 等観

出身 秋田市(一八九〇年〜一九六七年)



画像提供: 秋田県立博物館

チベット教典の研究者

西本願寺法主の命によりチベットに入学し、膨大な資料を携えて帰国。これを整理して『チベット大蔵経総目録』、『西蔵撰述伝典目録』を刊行。国際的なチベット研究に貢献する。東北、東京、慶應義塾の各大学講師。

前号(第495号)の秋田の偉人たちのVol.26は、Vol.27の誤りでした。お詫言して訂正いたします。

「帆立のようなモッツアレラ」(食器部門)「 Kitty銀間cup」(非食器部門)「みたね巻」(イケめし部門) が人気第一位に!

全県商工会おもてなしまつり2013

来場者は八万人超

十月十二日からの連休三日間、秋田駅前アグリ買物広場において、秋田DCキャンペーンで訪れた観光客らの特産品、ご当地グルメ、郷土芸能でもてなししようと、全県の二十一商工会が一堂に会した県内最大級の物産展を開催いたしました。

三日間で八万二千人の来場者が訪れ、総売上高は千万円を超えました。本年度は各地の特産品の販路拡大支援を本格化しており、各商工会が推薦する優良特産品「べっぴんさん品」百九品をはじめとして二百六十八品を集めた販売ブースでは、ここでしか買えない特産品を買い求める観光客で賑わいをみせました。

また、女性部員は場内に「おもてなしステーション」を設け親切な案内役を担ったほか、青年部はそれぞれの地元のご当地グルメ「イケめし」の提供を行うなど組織を挙げた取り組みとなりました。

本事業は三カ年計画で行われており、



来賓挨拶(大野議員連盟会長)



帆立のようなモッツアレラ
(食品部門1位)



畠栄のあんごま餅(スイーツ部門1位)



Kitty銀間cup(非食品部門1位)



みたね巻
(イケめし部門1位)

【べっぴんさん品コンテスト】

・食品部門

1位… 帆立のようなモッツアレラ
(農)雄和トールケーキ:河辺雄和商工会)

2位… 仁手古サイダー(六郷まちづくり(株):美郷町商工会)

3位… えびっこ(中辛)(でんべいかれい生産グループ:にかほ市商工会)

・スイーツ部門

1位… 畠栄のあんごま餅(株)畠栄:湖東3町商工会)

2位… ジャージーレアチーズケーキ(土田牧場:にかほ市商工会)

・非食品部門

1位… Kitty銀間cup(株)佐藤商事:ゆざわ小町商工会)

【イケめしコンテスト】

1位… みたね巻(三種町商工会青年部)

2位… バリコ口焼き(河辺雄和商工会青年部)

3位… だまご鍋(湖東3町商工会青年部)

来年度の国民文化祭で集大成を迎えます。なお、来場参加型で行われた人気コンテストの結果は次のとおりです。

「由利本荘起業支援室」9/17開設! 入居者募集中です!!

起業や新たな事業分野への進出等を目指した意欲的な個人または法人に事務スペースを提供するため、由利本荘市商工会館内に、当県連2番目の支援拠点となる「秋田県商工会連合会「由利本荘市起業支援室」」を開設しました。

支援サービスとして、由利本荘市商工会の経営指導員、秋田県商工会連合会の専門経営指導員が、経営全般に対してサポートするほか、商工会の各種施策を活用した経営・技術の両面にわたる支援を受けることができます。

起業支援室はAとBの2室あり、現在はB室の利用者を募集していますので、起業や新たな事業分野への進出等を目指されている方は、ぜひご利用ください。

なお、入居に関するお問い合わせは、由利本荘市商工会または秋田県商工会連合会中央部指導センターまでお願いします。



テープカットを行う関係者

【問い合わせ先】

・由利本荘市商工会

〒015-0872 由利本荘市瓦谷地4-1
TEL 0184-23-8686 / FAX 0184-23-8688

・秋田県商工会連合会 中央部指導センター

〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47
TEL 018-863-8495 / FAX 018-863-8490

豪雨災害に義援金 石澤全国連会長が来県し、村岡県連会長へ手渡されました

去る8月9日の記録的な大雨により、県内各地で水害等が発生し、特に、かつの商工会、大館北秋商工会、仙北市商工会の3地域では大きな被害に見舞われました。

この被害状況を受け、本会では県内21商工会、県商工会青年部連合会、県商工会女性部連合会及び県商工会職員協議会に対し義援金の募金をお願いしたところ、150万円余の義援金が寄せられ、また、9月12日には、全国商工会連合会石澤会長が来県し全国連からの御見舞金50万円が本会村岡会長へ手渡されました。この他、全国商工会青年部連合会及び全国商工会女性部連合会からも30万円ずつの災害復興支援金が届けられ、総額263万円余の善意は、10月4日に3商工会へ送られ、順次被災事業所へ届けられました。

被災された会員の皆様が一日も早く通常の事業活動が再開出来るようご祈念申し上げます。



石澤全国連会長から義援金を受取る村岡県連会長

北秋田市・にかほ市・横手市平鹿町で移動県連を開催

県内3地区において「移動県連」が開催され、商工会役員等延べ156名が参加しました。

今年で3回目となるこの「移動県連」は、県連合会の正副会長等が県内各地に出向き、商工会の方々と意見交換を通じて、地域のニーズや課題を把握し、関係機関への政策要望等に役立てることを目的としています。

今回の意見交換のテーマは、後継者不足が大きな課題となっていることを踏まえ、「事業承継の現状と課題、今後の対策」とし、県が策定を目指している中小企業・地場産業振興条例に意見を反映させることも狙いとして行われました。

パネルディスカッションでは、はじめにコーディネーターの佐瀬道則氏から「3割近い会社が後継者がいないため廃業を考えている」という調査結果を示しながら問題提起し、これを受けて、各地区3名の商工会代表者から各自自身の体験談を通じて、先代あるいは後継者の視点から

県北

9月26日(木)

ホテルニュー松尾(北秋田市)

【コーディネーター】

MSコンサルティング
佐瀬道則氏

【パネリスト】

かづの 岩船 勝広氏
北秋田市 藤本 忠氏
二ツ井町 工藤 晃氏



中央

10月1日(火)

ホテルエクセルキクスイ(にかほ市)

【コーディネーター】

MSコンサルティング
佐瀬道則氏

【パネリスト】

男 鹿市 大坂 真一氏
湖東3町 荒川 滋氏
にかほ市 三浦 俊之氏



県南

10月3日(木)

平鹿生涯学習センター(横手市平鹿)

【コーディネーター】

MSコンサルティング
佐瀬道則氏

【パネリスト】

仙 北市 島川 祥氏
よこて市 大嶋 秀夫氏
ゆざわ小町 佐藤 鉄也氏



事業承継の際の課題や求められる心構え等を紹介いただいた。その後、フロアからも質問や意見を交えながら活発な意見交換が行われました。

また、交流懇親会の席上では、8月9日の豪雨災害に見舞われた、かづの、大館北秋、仙北市の3商工会に対して、義援金の贈呈が行われました。

「商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟」全県商工会長らと情報交換

9月24日(火)「商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟」の県議と県内商工会長、県青連・県女連・青年同友会の正副会長との情報交換会を秋田キャッスルホテルで開催しました。

情報交換会では、県北・中央・県南地域の商工会を代表して、地域の概況報告と今後の取り組みについて報告がありました。

▽日沿道事業化に伴うサービスエリア機能「ガソリンスタンド、道の駅」の要望提言(二ツ井町商工会 菊池会長)

▽「鱧しよっつる」を活用した料理・商品づくりの取り組み紹介(にかほ市商工会 佐藤会長)

▽東北中央道の未整備区間の早期着工要望と「詩の街ゆざわ」「うどんエキスポ」の取り組み紹介(ゆざわ小町商工会 上坂会長)

その後の意見交換では、豪雨被害で通行止めになっている国道341号の早期復旧や、県中小企業振興条例の実効性確保等を要望したほか、事業承継対策の必要性や女性部「おもてなし活動」などについて活発な意見が取り交わされました。



「小規模企業基本法」制定が本格化

一般の6月国会において、「小規模企業活性化法(中小企業基本法等の一部改正)」が成立し、小規模企業に焦点を当てた政策が打ち出されました。

これまでの中小企業政策の対象は、従業員ゼロの零細事業者から従業員300人の中規模企業まで一律の政策体系となっており、同じ枠組みの中で支援施策(補助金等)を講じて、小規模企業にとって活用しにくい制度・運用になっている等の指摘がありました。

こうした問題を踏まえ、商工会ではこれまでに、零細な小規模企業に特化した「小規模企業基本法」の制定と併せ、小規模企業政策の拡充や制度改善を求めてきましたが、今回の法体系の整備を機に、その実現に弾みがつくこととなります。

先日の参議院議員通常選挙では、商工会組織候補の宮本周司氏(前全国商工会青年部連合会長・石川県)が当選を果たしましたが、「小規模企業基本法」の早期制定に向けて大きな意味を持つとともに、商工会員の声を国の政策に届ける仕組みが格段に向上していくことが期待されます。

平成25年度 全県商工会女性部長サミットが大仙市で開催されました

県連合会・県女性連主催による「全県商工会女性部長サミット並びに女性部支援担当者会議」（四十二名出席）が、9月12・13日、大仙市の奥羽山荘を会場に開催され、各商工会女性部活動についての報告や今後の事業計画等について、部長・担当職員を交えて活発な意見交換が行われました。

会議では、「全県商工会おもてなしまつり（10/12～14開催）」の概要説明、秋田デスティネーションキャンペーンに合わせた女性部「おもてなし隊」の活動内容、取り組みなどが話し合われました。これからも女性部員一丸となって県女性連事業を推進していくことを強く確認し合いました。

また、本年度の開催地域、大仙市の国指定名勝「旧池田氏庭園」の見学や「旧南外村の榎岡焼」体験なども行い、由緒ある歴史的庭園・地域資源を見て・触れて・体験し、県南の文化と伝統産業の見聞を深めた研修となりました。



旧南外村の榎岡焼を体験する参加者



女性部長サミットに参加した「おもてなし隊」



大仙市の国指定名勝「旧池田氏庭園」を見学



討 報



秋田県商工会連合会理事・仙北市商工会長の千葉正登氏は、かねて病氣療養中のところ平成25年8月26日、秋田市内の病院でご逝去されました。

享年75歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

故千葉会長は、昭和53年より旧田沢湖町商工会の役員を務められ、商工会合併後の平成21年からは仙北市商工会長に就任され、現在に至っています。

その間、商工会連合会の監事、平成24年からは理事に就任され、全県的な視野から商工会の運営並びに地域商工業の振興にご尽力されました。

「第46回秋田県商工会青年部野球大仙美大会」を開催 ～白神八峰商工会青年部が大会3連覇！～

第46回秋田県商工会青年部野球大仙美大会が9月28日（土）、29日（日）開催されました。大会には全県より13チームが参加し、落合球場・西明寺球場（仙北市）・美郷町球場・美郷町北球場を会場にリーグ戦方式で開催され、白熱した試合が展開されました。

大会2日目は落合球場を会場に勝ち残った白神八峰、にかほ市、美郷町、よこて市の各会青年部による準決勝、決勝が行われ、決勝で白神八峰商工会青年部がよこて市商工会青年部を14対6で下し、見事3年連続の優勝を果たしました。

また、28日には大仙市内のホテルにおいて交流レセプションが開催され、全県より約200名の青年部員が参加しました。来賓には栗林大仙市長をはじめ、多数ご臨席いただき、歴史ある青年部野球大会の交流会にふさわしく盛大に開催されました。大会を通じ、青年部員相互の親睦とネットワーク強化され、互いに明日からの商売繁盛に向け鋭気を養いました。

来年度は、北秋田地区で開催されます。結果は次のとおり。



優勝した白神八峰商工会青年部

大会結果

優勝	白神八峰商工会青年部
準優勝	よこて市商工会青年部
第3位	美郷町商工会青年部
	…… にかほ市商工会青年部
最優秀選手賞	…… 斉藤 弘泰さん(白神八峰)
優秀選手賞	…… 伊藤 一八さん(白神八峰)
	…… 相馬 一輝さん(よこて市)



消費税、17年ぶり増税へ!

秋田県商工会連合会 嘱託専門指導員 武野りつ子氏 寄稿

皆さんご存じの通り、来年4月1日に消費税率8%への引上げが決定しました。この会報が発行される頃には更に増税に向けた動きが進んでいる事でしょう。

建設業や製造業等の方は9月迄の請負契約で経過措置の適用（増税後の引渡でも旧税率が適用）があった為、他業種より一足早く増税を実感したのではないのでしょうか？

10月1日からは消費税転嫁対策特別措置法が施行されました。主な内容として大きく3点が挙げられます。

- ①消費税の転嫁拒否等の行為（減額、買ったたき等）が禁止されます。
- ②消費税に関連する様な形での安売り宣伝や広告を行う事が禁止されます。
- ③「総額表示」義務が緩和され、「外税表示」「税抜き価格の強調表示」が認められます。適用期限は平成29年3月末日となっています。

特に③については、企業の方針によってどの様な表示方法になるのか、一消費者として大変興味深いところですが、事務負担が少なく価格転嫁がしやすい税抜表示か消費者が望む総額表示か、併記するならどちらを強調表示するのか。いずれに

しても表示方法が統一されない限り、消費者の混乱は避けられない事でしょう。消費税は平成元年4月に3%で実施され増税は2度目ですが、今回は総額表示になってから初という事で、総額表示義務がある事業者にとっては大変な負担となっています。又10円未満や100円未満切捨価格で販売やサービスを行っている事業者は、値上方法についてギリギリ迄検討を迫られる事でしょう。

今年度になって、何度か消費税転嫁対策講習会に講師として参加させて頂きました。受取消費税は仮受金で支払消費税は仮払金だという事を、非常に良く理解している方とそうでない方もいらっしゃいます。8%の1年半後には10%の税率が控えています。理論上の消費税は最終消費者が負担し事業者が納付行為を行うものですが、簡単に転嫁できるものでもありません。納税資金を確保しておく事務作業も容易ではありません。今迄は深く考慮せず税込価額で取引していた事業者も、これからは本腰を入れて転嫁対策を講じないと、増税分がそのまま事業者の負担となってしまいます。商工会にも消費税転嫁対策相談窓口が設置してありますので是非ご利用下さい。

県内商工会の地域貢献事業紹介

かづの商工会(県北地区)

事業名 出逢って つながって 強くなる「かづの産業見合市2013を開催」

1 事業の内容

本年度かづの商工会では、これまで鹿角市が主体となって実施してきた「かづの産業見合市」を本会が事務局となり実行委員会を組織して開催します。

本事業は、鹿角地域の事業者間のマッチングによる新たな商品(技術)の開発や強化を図る「異業種交流の場」とビジネスチャンスの「商談会の場」として開催し今年で3年目を迎えます。

この実績を踏まえつつ、本年度は見合市をステップアップした「マーケティングの場」として活用できるよう「テスト販売」を可能とし、更に鹿角地域の産業をPRするためにAAB秋田朝日放送より後援をうけ同局の情報番組の料理コーナーの料理研究家による鹿角食材を使った「調理実演」など、新たな取り組みを展開いたします。

また、これまでも300名を超える方々から来場していただいておりますが、意識的にこの場を視察の場として提供し、鹿角地域にとどまらずに商工会や同業者等からも来場していただき、幅広い産業間連携を促進していくこととしております。

2 事業の効果

見合市の一番の趣旨は「異業種間連携による付加価値の創出」としてはいますが、現実としてはバイヤーとの商談からの販路拡大や、来場者からの生の意見を聞けるマーケティングの場としても大きな効果が期待されており、8割以上の出展者が、次回も出展を検討したいという意見が多くあります。

また、個別商談会においても、次回も参加したいとの回答が5割以上となり、見合市を通じて直接的な売上増加や利益向上にも結び付いており、連携や商談の根本にある「自社の強みのPR」するためのプレゼン能力向上につなげ、更なる鹿角地域の産業の発展と地域の活性化に寄与できればと考えております。



男鹿市商工会(中央地区)

事業名 商店街賑わい事業 海フェスタ・DCおもてなし事業

1 事業の内容

商業部会は会員企業の利益創出と地域の賑わいづくりを目的に商工会館(オガルベ)1階フロアの無料貸し出しを実施しました。また「あおぞら火曜市」はオガルベ駐車場を出店希望者に無料開放して地場産品を販売してもらっています。

観光サービス部会は海フェスタや秋田DCなどの大型観光イベント開催を男鹿のPRと来客者増加のチャンスと捉えました。お客さまには今回で終わることなくリピーター客になってもらうよう地域全体で「おもてなし」の心を表すため、市内の主な所に「ようこそ男鹿へ」の幟旗150本を設置しました。



「なまはげ」がお出迎え



オガルベ1階の物販コーナー

2 事業の効果

オガルベ1階の物販コーナーは海フェスタ来場者や夏期の観光客、帰省客の土産品販売所と休憩所として喜ばれました。あおぞら火曜市は平成19年から継続している事業です。地場産の野菜・果物・山菜・男鹿産の魚介類・海藻・加工食品を新鮮で多様な品揃えで提供し、地元の買い物弱者にとって欠かせない市場になっています。これにより「地産地消」運動にも貢献しました。他に出店者が生産者の立場から商工業者へ転身するきっかけとなり、意欲的に販路を拡大するようになりました。今年はオガルベ物販コーナーとあおぞら火曜市は相乗効果をつくりだし、賑わい作りにも貢献しました。海フェスタに合わせ工業部会ではOGAマリンパークや鶴ノ崎海岸などを数回に渡りクリーンアップを実施しました。多くの事業主と従業員の他、地域団体からも参加協力をいただき、環境美化で「おもてなし」の心を示しました。

仙北市商工会(県南地区)

事業名 産業連携事業 仙北市の観光と物産展「山の楽市」

1 事業の内容

相鉄線二俣川駅(横浜市)で11月14日から3日間に開催する「山の楽市」は、今年で19回目。相模鉄道が田沢湖-横浜間に高速夜行バスを運行していた縁で、平成7年から開催。当初は旧田沢湖畔が主催し、平成19年からは商工会へ移管。物産展は商工会が、観光PRは仙北市が、物産展の会場提供とPRは相模鉄道が担当。

市内事業所の他、農家からも出品。お菓子や漬物、工芸品に加え新米や野菜、山菜など仙北市の特産品が盛り沢山。沿線住民にはポスターやチラシ、お得なクーポンがついた折込みチラシ等でPR。各出展者は得意先や知人友人にDMを発送。千円以上お買い上げのお客さまには、温泉宿の宿泊券などが当たる抽選会を行って集客している。

2 事業の効果

事前の出店者会議では、食品表示講習や来場者から寄せられたアンケート結果を参考にして出展者の販売スキルを向上。期間中の売り上げは千数百万円に過ぎないが、長年出展している事業者は多くの得意客を持ち、年間を通じて注文が寄せられる。また、お客さんとは、物産や観光を通じた地域間交流も。

山の楽市は、「商工会と行政」「商工会と農家」「商工業者と農業者」「出展者と顧客」が連携して開催。出店を機に商工会に加入する農業者も多い。また、東日本大震災で大きな打撃を受けた仙北市の観光を支援しようと、相模鉄道では10両編成の電車内広告の総てを仙北市関連のポスターで埋め、2週間もの間無料で掲示した。

「山の楽市」は、組織や産業、地域間を超えた連携事業に育っている。



商工会新会員紹介コーナー

新たに県内21商工会の会員となられた皆様を紹介します。

かづの商工会

企業名：鹿角コミュニティFM株式会社
 代表者名：安保 朗
 所在地：〒018-5201
 鹿角市花輪字下中島12-2
 連絡先：TEL 0186-25-8739
 FAX 0186-25-8817
 ホームページ：http://fm791.net

新会員から一言：「鹿角市民全員にマイクの前に立ってもらう」を目標に掲げています。バラエティー番組や人紹介番組、子どもたちのタイトルコールなど、様々な場面で出演してもらいたいですね。



男鹿市商工会

企業名：ボディショップキラリ 連絡先：TEL0185-22-6280
 代表者名：三浦 朋胤 ともつぐ FAX0185-22-6281
 所在地：〒010-0341
 男鹿市船越字内子1-429
 E-mail：bodyshop-kirari@akita.email.ne.jp

新会員から一言：「キズ・ヘコミをきれいに直す」をモットーに仕上げを徹底重視。親切丁寧な仕事で愛車をピカピカに！男鹿地域唯一の最高級ヨーロッパ補修塗料使用工場です。全車種に対応OK。

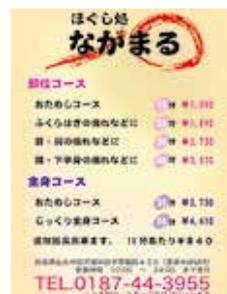


男鹿船越の国道101号線沿いにおいて、写真の黄色い建物が目印

仙北市商工会

企業名：if-project
 代表者名：石橋 長実
 所在地：仙北市田沢湖梅沢字東田168
 連絡先：TEL0187-44-3692
 ホームページ：http://www.if-p-d.com

新会員から一言：田沢湖芸術村温泉ゆほぼ内にて「ほくし処 ながまる」というお店を拠点に、仙北市のホテルと温泉施設を中心にリラクゼーションサービスを提供しております。地域活性化の一助になればと思います。



労働保険(労災保険・雇用保険)の加入手続きはお済みですか

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

労働保険は、農林水産業の一部を除き、労働者を1人以上使用する全ての事業主が加入することとなります。

該当する場合は、事業主及び労働者の意向に関わらず、法律上、当然加入の手続きを行うことが事業主の義務となっています。まだ加入されていない場合は、早急に最寄りの労働基準監督署かハローワーク(公共職業安定所)にご相談されますようご案内いたします。

問い合わせ 秋田労働局総務部労働保険徴収室▶▶▶ 秋田市山王7丁目1番3号 TEL 018-883-4267



【2013年10月～11月出発限定の特別企画!!】

秋田空港利用促進協議会会員様・ご家族限定
 (県内各商工会の会員・役職員とご家族様も含まれます)

**ソウル3・4日間
 秋旅ソウルツアーのお知らせ**

★秋旅ソウル限定のスペシャル特典!
 これが今年、最後のチャンス!★

特典1

参加者の方へ下記プレゼント付き!
 ※免税店等へ立ち寄らずホテルに直行されるお客様にはプレゼントがございません。

- ①辛ラーメン(1個)
- ②焼きのリパック(1パック)
- ③空港にてミネラルウォーター1本
- ④免税店割引券
- ⑤6名様以上のご予約で専用車を ご用意致します。

特典2 先着

オプションツアー無料又は韓国デパート等で利用できる商品券をプレゼント!

Aコース ソウル終日観光オプションツアー 12,000円相当

(内容は下記となります。)

＝ホテル朝食「あわびのお粥」＝世界遺産観光 ☆火曜日…ソウル歴史博物館、昌徳宮
 ☆水～日曜日…宗廟、昌徳宮＝昼食「ミニ韓定食」＝ショッピング(ロッテ免税店、民芸品店)、
 南大門市場＝夕食「タッカルピ+イカのブルコギ」＝夕食後、アカスリ体験(サウナ、汗蒸幕、アカスリ)＝ホテル

※宗廟見学は予約定員が超えた場合、南山韓屋村へご案内致します。
 ※アカスリ体験は別途10,000ウォンのチップが別途かかります。男性は汗蒸幕ができない場合がございます。

Bコース 商品券5,000円相当 (約50,000ウォン)

ロッテ百貨店、ロッテ免税店、ロッテマートで利用できる商品券5,000円相当(約50,000ウォン)

※先着Aコース：50名 Bコース：100名となります。定員になり次第終了とさせていただきます。
 ※10月出発分は終了しておりますので、詳しくは、秋田県観光文化スポーツ部交通政策課までお問い合わせ願います。

TEL 018-860-1282 FAX 018-860-3876

笑顔と、ちょっとしたおもてなし

商工会女性部おもてなし隊

【おもてなしステーション】を県内200カ所に設置

10月から秋田デスティネーションキャンペーン(秋田DC)がスタートしました。県内21商工会女性部「おもてなし隊」では、本県を訪れる多くの観光客が「あんべいいなあ秋田」と感じていただけるよう、“笑顔とちょっとしたおもてなし”を提供する【おもてなしステーション】を県内200カ所余りに設置しました。



▲おもてなしステーション
ステッカー

リーフレット▲

「おもてなし隊」は平成18年の結成以来、秋田わか杉国体や全国植樹祭など県内で開催される一大イベントの都度、お揃いのピンク色のジャンパーを着て秋田へ訪れる方々を歓迎してきました。今年の秋田DCでは、女性部員の店舗など全県215カ所(10月1日現在)に「おもてなしステーション」のステッカーを貼り、観光客へ地域の見どころや特産品の紹介、目的地までの道案内など、地元を知り尽くした女性部だからできる“ちょっとしたおもてなし”を提供しています。

「おもてなし隊」では秋田DCの期間中、本県を訪れた観光客に「あんべいいなあ秋田」と感じていただき、ふたたび「秋田にしました。」と言っていたら、これからは様々なおもてなし活動に取り組んでまいります。

秋田DC協賛

商工会女性部おもてなし隊によるウェルカムコール ～最高の笑顔でお出迎え「ようこそ秋田へ!」～

商工会女性部おもてなし隊では、秋田DCに協賛し秋田新幹線などJR沿線でピンク色の統一ジャンパーを着て、大型横断幕を手を持ち、乗車中の観光客に向けて「ようこそ秋田へ!」の思いを込めて手を振り歓迎する【ウェルカムコール】を実施しました。

秋田DC初日の10月1日には、仙北市、大仙市、河辺雄和の各商工会女性部が東京からの臨時列車「秋田新幹線【スーパーこまち】」に向けてウェルカムコールを行なったほか、湖東3町商工会女性部ではJR八郎潟駅で【リゾートしらかみ1号】と【特急津軽1号】に向けて、北秋田市商工会女性部ではJR鷹巣駅で【特急津軽3号】に向けて、それぞれの女性部が最高の笑顔でお出迎えしました。



角館駅ホームで歓迎(仙北市商工会女性部)



農道から歓迎(大仙市商工会女性部)



リゾートしらかみへ歓迎(湖東3町商工会女性部)

商工会女性部では、今後も全県各地でウェルカムコールを実施し、「あんべいいなあ秋田」と感じていただけるようがんばります。

秋田DCオープニングで「べっぴんさん品」をPR

10月1日、秋田駅で行われた秋田DCオープニング式典にあわせ、各商工会長が推薦する優良特産品「べっぴんさん品」を県内外にPRする展示即売会「ミニおもてなしまつりinアルヴェ」を開催しました。

会場にはJR「大人の休日倶楽部」の会員で構成する趣味サークルが成果披露をするステージが設けられ、首都圏・仙台から臨時列車で訪れた300人を含む約1,500人の来場者で賑わいました。出展した7商工会の11事業所は、自慢の「べっぴんさん品」をPR。なかでも湖東3町商工会島栄の「島栄のあんごもち」や仙北町商工会プチ・フレーズの「花豆ぬれ甘納豆」など、会場ではか買えない商品を求めるお客様に喜んでいただきました。



畳の魅力を発信して、畳文化を未来へ届けます

～循環資源を活用したエコたたみ製造～

No.96

おらほ
の
まちの人



平成25年度秋田県環境大賞表彰式にて和賀正治さん・百合さんご夫妻

和賀製畳店

代表 和賀 正治

常に一步前を目指した畳作り

昭和30年に自宅で畳店を創業、昭和43年には高度経済成長期に畳の需要をみすえ、畳床製造工場を新設し、昭和62年には畳床にJISマークが付く品質保証重視のため、秋田県初となる日本工業規格表示工場を取得しました。

その後の平成10年には更なる品質保証と、顧客満足のため、これも県内1社となるISO9001認証登録を取得するなど、県内はもとより全日本JIS畳床工業協同組合設立に参加するなど常に畳業界をリードする存在であり続け、品質へのこだわりは現在も続いています。

エコたたみへの取り組み

循環型社会に向けた取り組みも早く、

従来廃棄するしかなかった畳のリサイクルについて研究。平成3年には使用済み古畳を熱風で乾燥処理し、畳床から状態の良い稲わらを選別。この稲わらを50%再利用した新しい畳床の商品開発を完成させ、「ワガのわら床たたみ」として日本環境協会よりエコマーク認定を取得、平成16年には秋田県リサイクル認定製品の認定を受け、これを契機に県内公共施設や観光施設などに畳を納入し畳の廃棄量の削減に貢献しました。

また、全国にもエコマーク認定の事業所があったものの、使用済みの畳を再生材料として畳に再利用する手法や、配合率などの品質基準があいまいであったことから、市場にリサイクル畳の普及を図るために環境対応たたみの品質規格の統一を呼びかけ平成14年に「全国エコたたみ協会」を設立させ(当初42社)、エコたたみによるリサイクル活動を全国に広げました。

「低炭素杯2013」最優秀コミュニケーション賞・平成25年度秋田県環境大賞、受賞

エコたたみの製造を通じた循環型社会への貢献と畳業界全体に対するリサイクル普及活動が認められ、本年2月に開催された低炭素杯2013にエントリー。全国1371団体の中からグランプリ・金賞に続く部門賞のひとつである最優秀コミュニケーション賞を獲得、また本年9月には平成25年度秋田県環境大賞(循環型社会形成部門)を受賞し、家族を中心とした畳製造店から生まれたアイデアの積み重ねが大きな賞を獲得した1年となりました。

畳文化を未来へ

畳業界では、平成10年ごろまでの住宅建築ラッシュを境に、生活様式の洋風化とハウスメーカーのコスト競争により、和室の設営が極端に減少したことをきっかけに、技術を伝承する畳工の高齢化が進み、後継者不足により閉店が増えている寂しい現状です。

畳離れが進む中、畳の生活を知らない子供たちが急増しています。畳は古くは古事記に記述され、貴族が用いた調度品から、室町武士の時代に現代の畳敷きが誕生し、茶道と共に発展してきたと言われ、その空間は、今でも時には客間として時には家族の団欒癒しの場として、最良のものと感じています。将来の暮らしから畳文化が失われないよう、畳の魅力を発信して時代に合った畳作りを提供し続けていきたいと畳に対する熱い思いが伝わってきました。



畳製造技術は息子の和賀正由さんに着実に受け継がれています

和賀製畳店

事務所

〒012-1131
秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字上川原2

杉宮工場

〒012-1126
秋田県雄勝郡羽後町西杉宮4

電話番号

0183-62-5150

URL

<http://www3.ocn.ne.jp/~waga-ttm/>



会員福祉共済

商工会員向けキャンペーン実施中!

期間中(H25.6.1~H26.1.31)に会員福祉共済に加入された方に、もれなく

「図書カードを贈呈」します!

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の
商工会の
福祉共済
全国商工会員福祉共済

「けが」の補償
「病氣」の補償
「トータル」がん補償
シンプル「がん」補償がスタートしました!

商工会員
10万人以上の方に
ご利用いただいています

お申込みはご加入の商工会まで

*「病氣」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみお申込みいただけます。



※この紙は再生紙を使用しています。